

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.8

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2013.06.13

リニアの一番大事な安全性はどうなっているの？

● 中立的な立場からのリスク評価が必要 ●

4月27日、橋本のソレイユさがみにて「リニア新幹線とその安全性」について、阿部修治さん（物理学者）を講師に学習会を開きました。

じつは、在来の新幹線はこれまで、神戸の震災など間一髪で地震の被害を免れていただけで安全ではなかったこと、JR のリニア新幹線開発50年の歴史において、安全性は未確立のことが多い点など、リニアの動く仕組み・特徴とそのリスクの関係を分かりやすく話されました。



「リニアは在来型新幹線より地震に強い」というのは「神話」であり、同程度の安全対策では不十分！

リニア新幹線は新技術ゆえの新しいリスクが伴い、構造物の軽微な損傷でも致命傷になりかねず、また、活断層帯を直線上に突っ切るので地震に対するリスクは高く、在来型新幹線と同じに考えるわけにはいかず、より高い耐震基準が必要になると指摘されました。

また、在来型新幹線には無いゴムタイヤや地上コイル（樹脂を多用）など可燃物があり、火災のリスクも高く、特にトンネルでの火災事故のリスクは、全線の80%が地下トンネルで地上もコンクリート製のフードで覆われており、延焼のおそれもあって「火災時にはトンネルを走り抜ける」という説明は、無意味であると話されました。

国土交通省による安全性評価は JR の開発状況の確認にとどまっており、第三者による中立的なリスク評価になっていないと指摘、中立的な立場からの評価が必要であると強調されました。



トンネル車両火災の例：JR 石狩線特急事故（2011.5.27）
それでも燃えたのは車両のみ。リニアはトンネルも燃える？

— 学習会 — 必要か！リニア新幹線

お話しと意見交換 橋山禮治郎さん

千葉商科大学院客員教授
米アラバマ大学名誉教授

日時：**6月23日（日）午後2時より**（資料代として500円頂きます）

場所：**（小田急線）相模大野駅北口 ポーノ相模大野サウスモール3F
ユニコムフラザ セミナールーム1, 2**

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会 リニア新幹線沿線住民ネットワーク

問い合わせ先：大島(042-744-4048) 山本(042-748-8268) 中屋(090-9827-2005)

中野渡(042-712-7077) 杉藤(090-8102-5099) 伊藤(080-5953-0119)

